

氏名	榎 日出夫
学位の種類	医学博士
学位授与番号	博 甲 第 794 号
学位授与の日付	平成 2 年 3 月 28 日
学位授与の要件	医学研究科内科系脳代謝医学（発達神経科学）専攻 (学位規則第 5 条第 1 項該当)
学位論文題目	事象関連電位 P300 の発達および加齢に伴う変動に関する研究
論文審査委員	教授 大月三郎 教授 庄盛敏廉 教授 森 昭胤

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

小児期における神経生理学的発達過程に関する系統的研究の一環として、認知機能を客観的に評価する指標のひとつである事象関連電位 P 300 について 4 歳から 77 歳までの健常者 164 名を対象として検討し、以下の結果を得た。

1. P 300 は 5 歳より出現し、以後発達的变化を示した。
2. P 300 潜時は小児では年齢とともに短縮し、16 歳で最短値を示した後、成人では加齢とともに延長した。
3. P 300 振幅は 11 歳から 21 歳で他の年齢群に比較して高振幅の傾向を認めたが有意ではなかった。
4. P 300 振幅は個体差が大きく、正常、異常の判定を行なうことは不可能と考えられた。

以上から事象関連電位 P 300 の年齢別正常標準値を示すとともに、それがヒトの情報処理機構の機能的発達および加齢による変動の一面を客観的に評価しうることを示した。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は事象関連電位 P 300 について、小児から老年に及ぶ健常者を対象として調べ、P 300 潜時の加齢に伴う特徴的推移を明らかにしたものである。ヒトの認知機能の発達および加齢による変動について重要な知見を得たものとして、価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。